



学校では・・・

- 統廃合により、地域の学校数が減少
- 学校選択性により、学区が崩れ、それに基づいて構成される地域の様々な枠組みに変化が・・・

保育園では

- 幼稚園は、地域との連携があった。
- 保護者の就労により、保育園へニーズが移ってきている。
- 保育園では、
地域とつながって活動できる？
- 親も地域に入りにくい??

学童保育では

- 需要が高まってきている。
- 他方地域とつながって子育てをしている人は、少なくなってきている。
- 地域との関係も難しい？

公園・児童遊園では

- 「安全な管理」(公共性)が優先され、使用条件が厳しく、使いにくい。

まとめてみると・・・

各機関と地域の関係の弱体化

- 学校ー地域
- 保育園ー地域
- 学童ー地域
- 公園ー地域 等

地域の変容

地域との関係を考え直すときにきているのでは？

すなわち・・・

例)子どもたちが
安全に遊べる場所がない！
安心して過ごせる場所がない！



解決策

各機関と地域との関係を見直すためには・・・

↓

新しい地域を創造することが必要
—具体的な6つの提案—

具体策 —各機関へ—

- ①各機関が、**地域ニーズに対応した運営**をする
例)開館時間の変更
利用者の意見への細やかな対応
- ②各機関の**地域への開放を積極的に**行うと同時に、**行えるような管理体制に努める**。
例)学校の土日利用
企業内保育施設の開放 など
- ③地域センターに、**地域の人が集える拠点**を。

具体策 —行政へ—

これまで

行政や機関からの呼びかけ
→地域の自主活動
→各地区で

④
**良い事例を各地域で！
という発想を変えること
なのだ！！**

これから

地域の良い活動
＝各機関、行政がサポート

具体策 —行政・議会へ—

- ⑤**財源**なし→区債の発行等 **様々な手段**考えられる
NPOの感覚からすると・・・
時代を反映した理念
→ 多くの人の共感と運動へつながる
- ⑥区からの助成ではなく、**区の財源を住民に返す発想**で
例)市川市
税金の1%を市民の投票によりNPOへ寄付